

れいはいはさいこうのしゆくぶ

まいにち
れいはい

わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう

タラントの ながれ



- いのり _____ しかいしゃ
- しとしんじょう _____ みんなで
- さんび _____ さんびか 204 ばん (つみとがをゆるされ) 夢をもつきみ (2019 ねんこどもさんび)
- せいしょ _____ しと 19:8~10

使徒19:8~10 それから、パウロは会堂に入^{はい}って、三^{さん}か月の間^{げつ}大胆^{たいだん}に語^{かた}り、神^{かみ}の国^{くに}について論^{ろん}じて、彼^{かれ}ら^らを説^{せつ}得^{とく}しよう^{つと}と努^{つと}めた。しかし、ある者^{もの}たち^{たち}が心^{こころ}をかたく^{たく}なにして聞^きき入^いれず、会^{かい}衆^{しゆう}の前^{まえ}で、この道^{みち}をの^のの^のした^{した}ので、パウロは彼^{かれ}ら^らから身^みを引^ひき、弟^で子^したち^{たち}をも退^{しりぞ}かせて、毎^{まい}日^{にち}ツラノの講^{こう}堂^{どう}で論^{ろん}じた。これ^こが二^に年^{ねん}の間^{あいだ}続^{つづ}いた^{つづ}ので、アジヤ^あに^じや^やに住^すむ者^{もの}はみな、ユダヤ^よ人^{じん}もギリシヤ^し人^{じん}も主^{しゆ}のこ^こと^とば^ばを聞^きいた。

- みことば _____ タラントのながれ _____ しかいしゃ

人^{ひと}は神^{かみ}様^{さま}ととも^{とも}に^いると^{とき}、幸^{しあ}せ^わです。と^ところ^が、サ^さタ^たン^にに^だま^まさ^され^れて^て神^{かみ}様^{さま}から
離^はな^なれ^れて^てし^しま^まい^いま^ました。神^{かみ}様^{さま}は私^わた^たし^しととも^{とも}に^いる^ため^めに、女^{おんな}の子^し孫^{そん}と^として^く来^きる^こと^とを
約^{やく}束^{そく}し^てく^ださ^いま^した。そ^その^かた^た方^{かた}こ^こそ^そイ^いエ^えス^す・キ^きリ^りス^すト^とで^です。

イスラエル^いス^すラ^らエ^えル^る民^{みん}族^{ぞく}は女^{おんな}の子^し孫^{そん}の^{けい}約^{やく}を^のが^がし^しま^ました。結^{けつ}局^{きよく}、強^{つよ}い^く国^{くに}の^どれ^いい^い奴^ぬ隷^{れい}に^なり^なり^なま^ました。

捕^ほり^りよ^よとして^つ連^{れん}れ^れて^てい^いか^かれ^れる^るこ^こと^とも^もあ^あり^りま^まし^した。属^{ぞく}国^{こく}に^もな^なり^りま^まし^した。そ^その^よう^うな^なと^とき^きに
かな^から^らず^ず神^{かみ}様^{さま}はレ^れム^むナ^なント^のを^の残^{のこ}さ^され^れま^まし^した。レ^れム^むナ^なント^は弱^{よわ}か^かつ^つた^たの^ので^です^すが^が、サ^さタ^たン^に
支^し配^{はい}さ^され^れて^てい^いた^た強^{つよ}い^く国^{くに}を^い生^いか^かし^しま^まし^した。

神^{かみ}様^{さま}はい^いま^ま約^{やく}を^かい^いふ^ふく^くす^すこ^こと^とを^ねが^が願^{ねが}っ^つて^てお^おら^られ^れま^ます。イ^いエ^えス^す・キ^きリ^りス^すト^の約^{やく}を^かい^いふ^ふく^く
回^かい^いふ^ふく^くす^す人^{ひと}に、世^せか^{かい}い^いを^そな^なを^そ生^いか^かす^すタ^たラ^らント^を備^{そな}え^えて^てお^おら^られ^れま^ます。

- いのり _____ いっしょに おおきなこえで
いのりましょう

ち^ちち^ちなる^なる^る か^かみ^みさ^さま^ま、あ^あり^りが^がと^とう^うご^ござ^ざい^いま^ます^す！お^おん^んな^なの^の し^しそ^そん^ん イ^いエ^えス^す・キ^きリ^りス^すト^が わ^わた^たし^しに
と^とつ^つて^て す^すべ^べて^てに^に な^なり^りま^ます^すよ^よう^うに^に。そ^その^なか^かで^で わ^わた^たし^しの^の タ^たラ^らント^を は^はっ^つけん^{けん}す^すこ^こと^とが
で^でき^きま^ます^すよ^よう^うに^に。イ^いエ^えス^す・キ^きリ^りス^すト^の お^おな^なま^まえ^えに^に よ^よつ^つて^て お^おい^いの^のり^りし^しま^ます。ア^アー^アメ^メン

- しゆのいのり _____ いっしょに しゆのいのりを いのって れいはいを おえましょう
- フォーラム _____ きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



まいにち
チェックしよう

133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

15

げつようび

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう



それから、パウロは かいどうに はいって、
さんかげつの あいだ だいたんに かたり、
かみのくにに ついて ろんじて、
かれらを せっとくしようと つとめた。
しかし、あるものたちが ころろを
かたくなにして ききいれず、
かいしゅうの まえで、
このみちを ののしったので、
パウロは かれらから みを ひき、
でしたちをも しりぞかせて、
まいにち ツラノの こうどうで ろんじた。

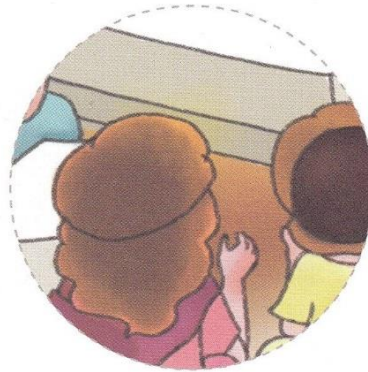
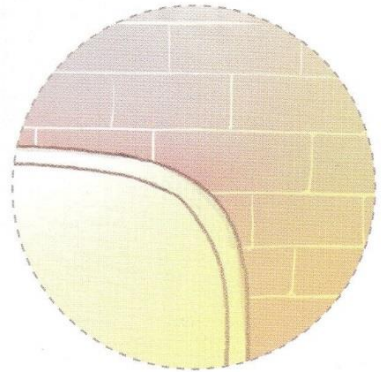
しと19しょう8~9せつの みことば



かみさまは せかいを そうぞうされた ときから いままで
ひとは かみさまの けいやくを しんじて いのれば よいと
みことばで かたって おられます。いつの じだいでも かみさまの
みことばを けいやくとして にぎった ひとは すべて
れいてきサミットの しゆくふくを あじわいました。
つぎの ページから あう えを きりとって はりましょう。

じゅんびする もの： はさみ のり つぎのページ





きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かながえてみましょう。
したの ないようを よんで じゅうような たんごを
なぞって かきましょう。



かみさまは

いま けいやくを

かいふく することを

ねがって おられます。

イエス・キリストの けいやくを

かいふくする ひとに、

せかいを いかす

タラントを そなえて おられます。

さがして いろをぬろう

どこ？

かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう

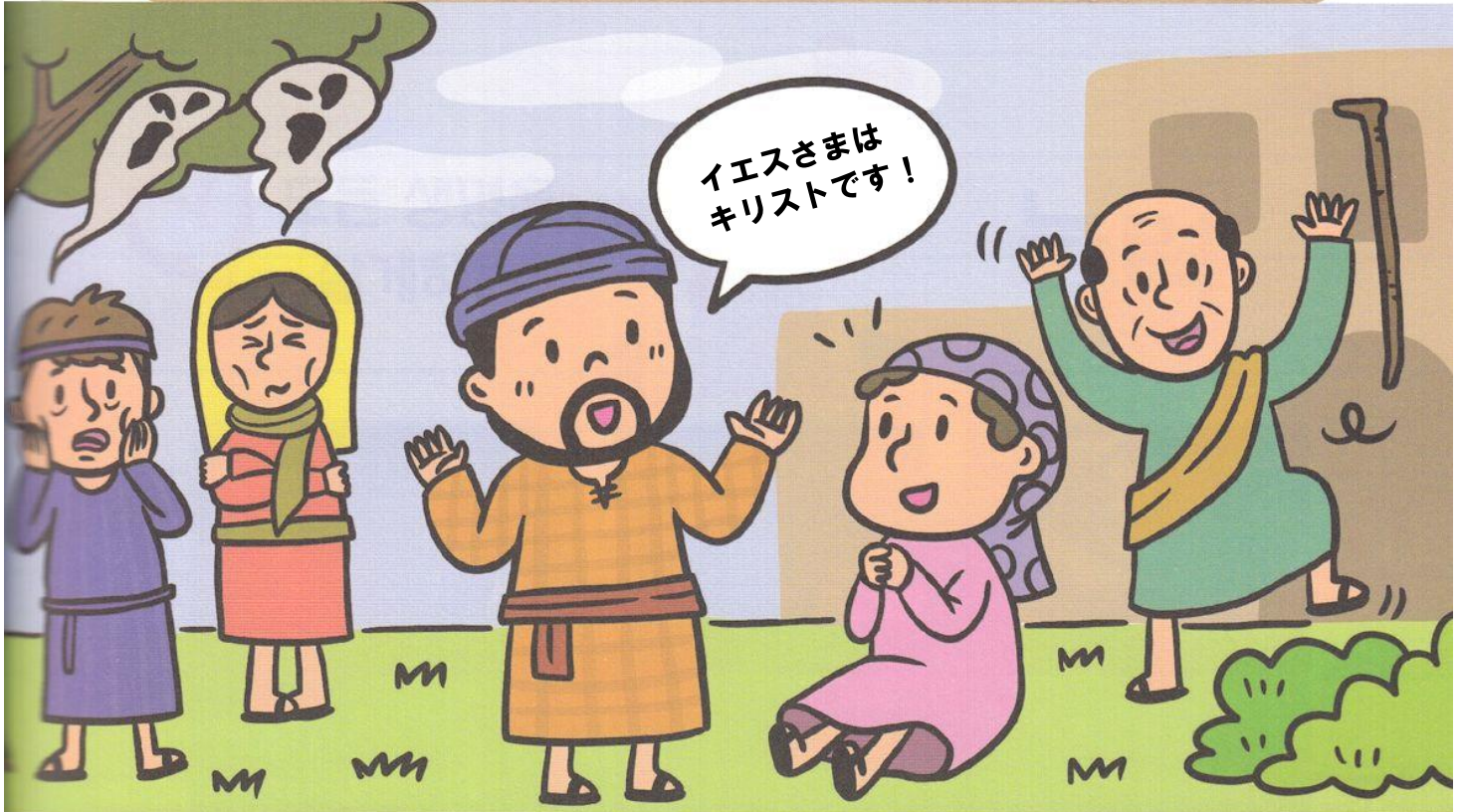
18

もくようび



このよの もんだいの なかで ほりよ どれい ぞっこくに なっている
ひとを いかす みちは ふくいんを かいふくすること だけです。
ふくいんを かいふくするには イエス・キリストを しゅじんとして
おうとして わたしの ころの なかに うけいれれば よいのです
この じじつを おぼえながら したの えの ちがうところを
みつけましょう。

ちがうところ | 7つあります



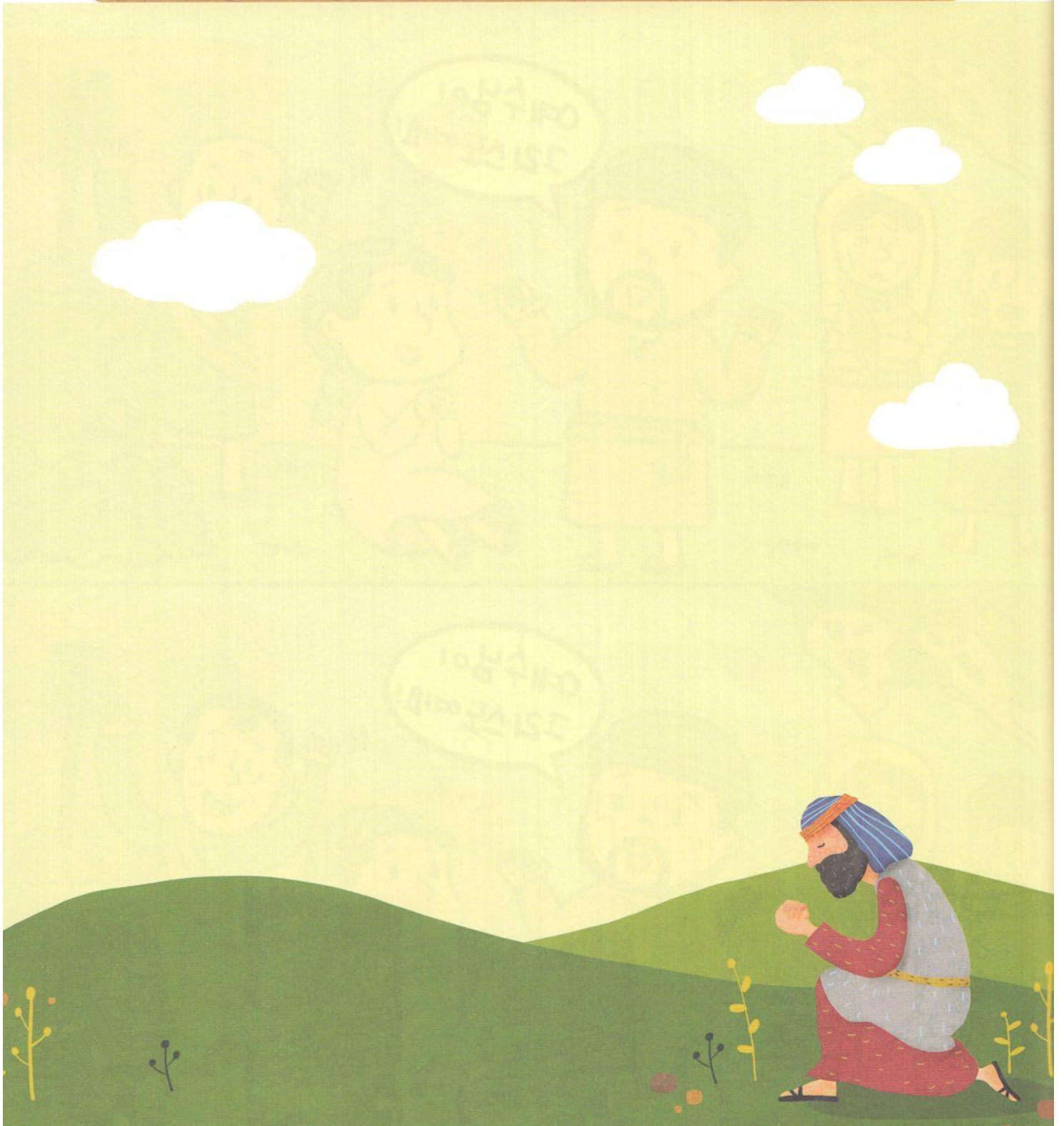


パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

● きんようび



きゅうやく じだいの ひとたちは どんな けいやくを にぎって
しょうりしたのでしょうか。
かぞくと はなしを わかちあって えか じで ひょうげんしましょう。



たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
ここに きざみましょう

くうきの なかにも みずが あることをしていますか。 みずは めに
みえないのですが とちに、 わたしたちの からだに、 きに ながれて
すべての いのちを いかしています。 かみさまの みことばも めには
みえないのですが その みことばを しんじて いのる ひとに すべてを
いかす おおきな ちからと なります。 したの ワークを しながら
くうきの なかの みずを かくにんしましょう。



じゅんぴするもの | ガラスのコップ2つ ジュース こおり

すべての いのちを
いかす



ちから



- ① じゅんぴするものを そろえます
- ② ガラスコップ2つに みずと ジュースを 入れて
まぜます
- ③ ひとつの コップに こおりを 入れます
- ④ こおりを 入れた コップの ひょうめん
すいてきが つきます。
- ⑤ その すいてきは どこから できたのでしょうか
- ⑥ そう、それが くうきの なかに ある みずです。
- ⑦ くうきの なかに あった みずが つめたく
なったので すいてきになりました。
- ⑧ かんしゃして いのって
こおりが はいった つめたい ジュースを
のみましょう。

